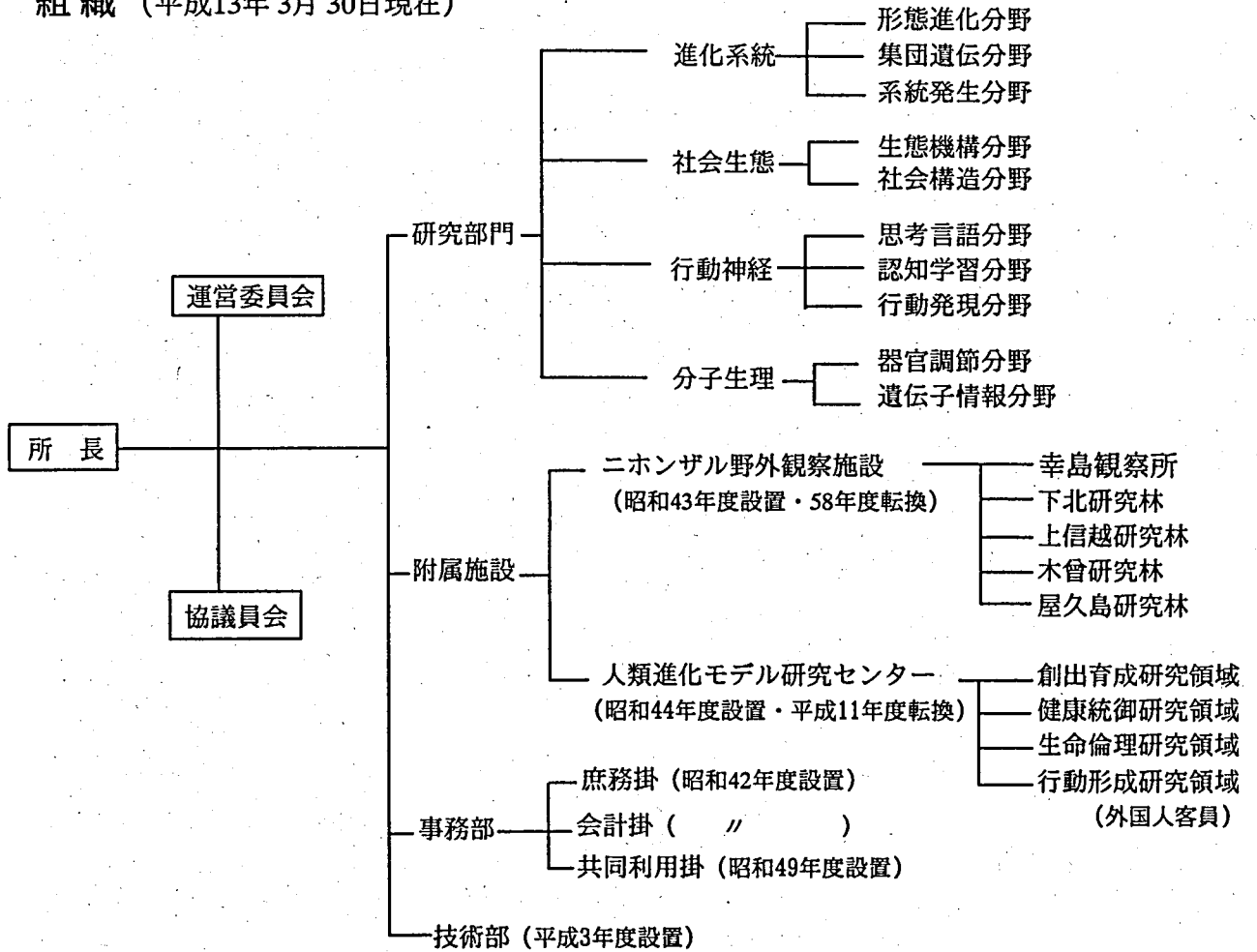


II 研究所の概要

1. 組織 (平成13年 3月 30日現在)



所長	小嶋 祥三	(東京大学大学院理学系研究科 教授)
運営委員	木村 賛	(東海学園大学人文学部 教授)
(順不同)	杉山 幸丸	(関西学院大学総合政策部 教授)
	高畑由紀夫	(大阪大学人間科学部 教授)
	和 秀雄	(武蔵大学人文学部 教授)
	丸橋 珠樹	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	石田 英實	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	西田 利貞	(霊長類研究所 教授)
	茂原 信生	(霊長類研究所 教授)
	竹中 修	(霊長類研究所 教授)
事務長	松沢 哲郎	(霊長類研究所 教授)
	鴨嶋 武忠	

教授	助教授	助手	事務官	技官	小計	非常勤(日々)	非常勤(時間)	合計
12	11	16	9	13	61	2	49	112

博士課程	修士課程	研修員	特別研究員	研究生	特別研究学生	合計
26	15	4	6	3	0	54

所内連絡先一覧

形態進分化分野 Tel/Fax: 0568-61-5775

片山 一道	katayama@pri.kyoto-u.ac.jp
濱田 積	hamada@pri.kyoto-u.ac.jp
毛利 俊雄	mouri@pri.kyoto-u.ac.jp
國松 豊	kunimats@pri.kyoto-u.ac.jp
早川 清治	hayakawa@pri.kyoto-u.ac.jp
水谷 典子	nmizutan@pri.kyoto-u.ac.jp

集団遺伝分野 Tel/Fax: 0568-62-9554

庄武 孝義	shotake@pri.kyoto-u.ac.jp
川本 芳	kawamoto@pri.kyoto-u.ac.jp
浄土 啓子	jodo@pri.kyoto-u.ac.jp

系統発生分野 Tel/Fax: 0569-63-0536

茂原 信生	shigehar@pri.kyoto-u.ac.jp
相見 満	aimi@pri.kyoto-u.ac.jp
高井 正成	takai@pri.kyoto-u.ac.jp
本郷 一美	hitomi@pri.kyoto-u.ac.jp
木下 實	kinoshit@pri.kyoto-u.ac.jp

生態機構分野 Fax: 0569-63-0565

上原 重男	uehara@pri.kyoto-u.ac.jp
森 明雄	mori@pri.kyoto-u.ac.jp
松村 秀一	matsumur@pri.kyoto-u.ac.jp
永田 礼子	nagata@pri.kyoto-u.ac.jp

社会構造分野 Fax: 0568-63-0564

加納 隆至	kano@pri.kyoto-u.ac.jp
大澤 秀行	ohsawa@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 晃	asuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp
杉浦 秀樹	sugiura@pri.kyoto-u.ac.jp
真方 栄子	makata@pri.kyoto-u.ac.jp

思考言語分野 Fax: 0568-62-2428

松沢 哲郎	matsuzaw@pri.kyoto-u.ac.jp
友永 雅己	tomonaga@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 正之	mtanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

認知学習分野 Fax: 0568-62-9552

小嶋 祥三	kojima@pri.kyoto-u.ac.jp
正高 信男	masataka@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 克樹	knakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
南雲 純治	nagumo@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

行動発現分野 Fax: 0568-63-0563

三上 章允	mikami@pri.kyoto-u.ac.jp
脇田 真清	mwakita@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 隆子	tmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 冬華	ysuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp

器官調節分野 Tel/Fax: 0568-63-0576

林 基治	hayashi@pri.kyoto-u.ac.jp
目片 文夫	mekata@pri.kyoto-u.ac.jp
清水 慶子	shimizu@pri.kyoto-u.ac.jp
金武ひろみ	kanetake@pri.kyoto-u.ac.jp

遺伝子情報分野

竹中 修	takenaka@pri.kyoto-u.ac.jp
平井啓久(兼)	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 伸	snakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
浅岡 一雄	asaoka@pri.kyoto-u.ac.jp
宮田 正代	miyata@pri.kyoto-u.ac.jp

ニホンザル野外観察施設 Fax: 0568-62-9575

渡邊 邦夫	watanabe@pri.kyoto-u.ac.jp
室山 泰之	muroyama@pri.kyoto-u.ac.jp
足澤 貞成	ashizawa@pri.kyoto-u.ac.jp
藤岡 明美	fujioka@pri.kyoto-u.ac.jp
幸島観察所	Tel: 0987-77-0045/Fax: 0987-77-0251
屋久島研究林	Te/Fax: 09974-5-2074

人類進化モデル研究センター Fax: 0568-62-9559

松林 清明	kmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
景山 節	kageyama@pri.kyoto-u.ac.jp
M.A.Huffman	huffman@pri.kyoto-u.ac.jp
平井 啓久	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
上野 吉一	okuma@pri.kyoto-u.ac.jp
後藤 俊二	goto@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 樹理	suzuki@pri.kyoto-u.ac.jp
松林 伸子	nmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 宣勝	nmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
熊崎 清則	kumazaki@pri.kyoto-u.ac.jp
阿部 政光	
釜中 慶朗	kamanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
前田 典彦	maeda@pri.kyoto-u.ac.jp
橋本ちひろ	katsuta@pri.kyoto-u.ac.jp
加藤 朗野	akkato@pri.kyoto-u.ac.jp
梅田 恵子	umeda@pri.kyoto-u.ac.jp
梅村真理子	mariko@pri.kyoto-u.ac.jp

事務局 Fax: 0568-63-0085

事務 長	jimuchou@pri.kyoto-u.ac.jp
庶務 掛	shomu@pri.kyoto-u.ac.jp
共同利用掛	kyodo@pri.kyoto-u.ac.jp
会計 掛	kaikei@pri.kyoto-u.ac.jp
図書 室	tosho@pri.kyoto-u.ac.jp

2. 予算概況

平成12年度経費

(単位：千円)

人件費	536,532
物件費	
校費	233,637
産学連携等研究費	6,195
施設整備費	0
計	239,832
科学研究費補助金(42件)	242,020
合計	1,018,384

研究費取得状況

(単位：千円)

教育研究学内特別経費	4,000
外国人研究員経費	1,880
国際シンポジウム経費	221
計	6,101
科学研究費補助金(42件)	242,020
奨学寄附金(4件)	8,200
合計	256,321

平成12年度 文部科学省科学研究費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	補助金額 (千円)	研究課題
COE形成基礎	竹中 修	90,000	類人猿の進化と人類の成立 (Evolution of Apes and the Origin of Human)
特別推進(2)	松沢 哲郎	35,000	認知と行動の霊長類的基盤
特定領域(A)(1)	小嶋 祥三	22,200	心の発達：認知発達障害
特定領域(C)(2)	林 基治	2,900	霊長類(マカクサル) 大脳皮質の発達におけるBDNFとTrkBの作用機序
特定領域(C)(2)	中村 克樹	4,000	サル頭頂連合野における異種感覚情報の統合機序の研究
地域連携 推進(1)	片山 一道	13,600	考古遺跡で出土した古人骨および動物遺物の総合台帳を整備作成する研究
基盤(A)(1)	片山 一道	7,400	ラビタ人からポリネシア人への変容過程を探る先史学的研究
基盤(A)(2)	庄武 孝義	3,200	ヤクニホンザルの実験動物化
基盤(A)(2)	大澤 秀行	4,600	アフリカ熱帯林の霊長類とその草原への進出：比較研究
基盤(A)(2)	三上 章允	4,000	ジャワ島における色盲ザルの研究
基盤(A)(2)	松沢 哲郎	5,420	認知機能の発達と進化的制約
基盤(B)(1)	茂原 信生	4,300	後氷期におけるニホンザルの成立過程の総合的研究
基盤(B)(1)	本郷 一美	4,300	動物遺存体分析による西アジア史再編：家畜化から遊牧的適応の成立まで
基盤(B)(2)	片山 一道	4,900	古代日本の争乱と武器に関する骨学的および考古学的研究
基盤(B)(2)	渡邊 邦夫	3,600	スラウェシマカクの種間雑種個体の繁殖異常と狭い交雑帯の形成機構
基盤(C)(1)	濱田 稔	500	ニホンザルに見られる季節性機序の解明
基盤(C)(2)	加納 隆至	400	ランドサット画像を利用したボノボとチンパンジーの生息植生の比較分析
基盤(C)(2)	森 明雄	400	ニホンザルのポピュレーション抑制期に現れる性成熟の遅延の生態学的研究
基盤(C)(2)	大澤 秀行	500	ニホンザルの繁殖戦略：とくに配偶選択の要因について
基盤(C)(2)	景山 節	2,200	霊長類の食性に対応した消化酵素ペプシノゲンの多様性と適応進化
基盤(C)(2)	中村 伸	2,800	好中球でのTissue Factor発現：その発現機序と病態との関連
基盤(C)(2)	林 基治	2,500	サル前頭連合野の老化に伴う脳内機能分子の遺伝子発現変化と認知機能との関連
基盤(C)(2)	鈴木 樹理	2,200	タイ国における野生霊長類をモデルとした内分泌攪乱物質の疫学的研究
基盤(C)(2)	清水 慶子	1,200	内分泌攪乱物質がサル胎児期の脳の発生・発達におよぼす影響

研究種別	研究代表者	補助金額 (千円)	研究課題
奨励(A)	友永 雅己	800	霊長類新生児における運動・認知・社会的発達とその相互作用
奨励(A)	田中 正之	1,100	チンパンジーとヒト幼児における類似性知覚と象徴化能力の比較
奨励(A)	脇田 真清	1,500	弁別訓練がサル大脳一次視覚野の受容野特性に及ぼす影響
奨励(A)	大蔵 聡	1,400	低栄養ストレスによる生殖機能抑制機序における血中ブドウ糖および遊離脂肪酸の役割
奨励(A)	中村 克樹	1,100	非言語コミュニケーションの脳内機序 — 言語機能とその左右差の進化の理解をめざして—
特別研究員 奨励費	保坂 和彦	1,200	野生チンパンジーの社会的道具に関する研究
//	早川 祥子	900	DNA父子判定による野生ニホンザルの繁殖成功度の研究
//	平田 聡	900	チンパンジーにおける他個体のもつ知識の理解
//	岡 輝樹	1,200	熱帯林の分断化がテナガザルの社会に及ぼす影響に関する行動生態学的及び遺伝学的研究
//	山越(明和) 政子	1,300	ヒトおよびチンパンジーにおける模倣の発達とその生物学的基盤
//	岡本 暁子	1,300	意志決定に影響を及ぼす社会的ルールの比較研究
//	藤田 志歩	900	ヒト以外の霊長類におけるホルモンと行動：生殖関連ホルモンが行動に及ぼす影響
//	土田 順子	900	霊長類における加齢に伴う認知能力の変化と脳の構造的・機能的変化に関する研究
//	中井 将嗣	900	古代人および霊長類の古病理学的研究
//	茶谷 薫	1,200	類人猿とオナガザルのロコモーション発達
//	高橋 弘之	1,500	野生オラウータンの保全のための遺伝学的・採食生態学および繁殖生理学的研究
//	加藤 啓一郎	1,000	嫌悪刺激及び報酬に関わる帯状回吻束部の役割とその線維連絡部位の役割
//	竹中 修	800	ホミノイドにおけるY染色体遺伝子の進化
合計	42件	242,020	

平成12年度 研究補助金等 内訳一覧 (文部科学省科学研究費補助金以外)

補助金等種別	研究代表者	補助金額 (千円)	研究課題
極東製菓工業(株) 霊長類学助成金	景山 節	1,400	霊長類に関する総合的研究
(株)日本速脳速読協会	松沢哲郎	1,500	チンパンジーの知性と教育の研究
(財)大幸財団	渡邊邦夫	4,300	中国秦嶺山系における金絲猴の社会生態学的研究
(株)明治乳業 霊長類学助成金	中村 伸	1,000	霊長類のアレルギー反応の制御機構
合計	4件	8,200	

3. 図書

2001年3月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下のとおりである。

(1) 蔵書冊数 (製本雑誌を含む)

和書： 6,293冊

洋書： 13,496冊

合計： 19,789冊

(2) 別刷点数

別刷： 67,850点

(3) 和文雑誌・新聞および中国文雑誌リスト

雑誌名	所蔵巻号	期間
アフリカ研究 (アフリカ研究会)	1(1-2)	1963-1964
アフリカ研究 (日本アフリカ学会)	1-30	1964-1987
母性衛生	26(1-2,4), 27-29	1985-1988
Clinical Neuroscience	1(3), 2(3-4,6-12), 3	1983-1985
治療学	7(5-6), 8(3,6), 9(1,3,6), 11(1,6)15(5)	1981-1985
動物学雑誌	69-71, 79(11-12), 80-92	1960-1983
動物生理	1-4,5(1-3),6(1)	1984-1989
ドクメンテーション研究	23-29, 30(1-3)	1973-1980
第四紀研究	1(2-4,6-7), 2-3, 4(2-4), 5-7,9(2), 10-11, 12(1,4), 13(3), 14, 15(2), 16(3), 17(2), 18(2,4), 19, 20(1-2), 21(1,3-4), 22(1-2,4), 23-28, 29(2)	1958-1990
ファルマシア	22-26	1986-1990
学術月報	21(10,12), 22-53+	1969-2000
学術の動向	1-5+	1996-2000
現代性教育研究	24(10), 36(10), 37(12)	1977-1979
言語	5, 6(1-6, 8-13), 7-18, 19(1-6, 8-12), 20-30+	1976-2000
ホルモンと臨牀	19-32, 33(1-3,5-12), 34(1-6), 35-37, 38-40, 41(1-2,4-12), 42(1-5,7-12), 43(1-2,5-12), 44-48+	1971-2000
遺傳	30(6-11, 13), 31-54+	1976-2000
週刊醫學のあゆみ	71(9), 75(5-13), 76-80,81(1), 98(9), 127(5)	1969-1983
醫學と生物學	82, 83(1-4,6), 84-99, 100(1-4)	1971-1980
IMAGO	4(7,13), 5(1), 3(5,10-11)	1992-1994
Isotope News	358-563+	1984-2001
Japanese Journal of Sports Sciences	1-4,5(1-7)	1982-1986
人類学研究	1-2, 3(1-2), 6, 7(3-4)	1954-1960
人類學輯報	1-6, 8-12, 14, 16, 18-19, 21-25 28-36	1948-1967
人類學雜誌	56(3,10-11), 57(3,6-7,10-11), 58(1,3,5,7-8,10), 59(2,7,9-12), 60(1,3), 61-99	1941-1991
人類學雜誌 (復刻版)	1-60	1886-1949
人類科学	5-8, 11, 14, 18-19, 21, 27, 29-40	1952-1987
季刊人類学	1(4), 12(1), 15(4), 16(1,3-4)	1970-1985
自主講座	1-6,8-23,25-34,36-66,71-75,77-80,82	1971-1978
情報処理	17(12), 18(1-4,6-12), 19-21, 22(1-2,4-7)	1976-1981
条件反射	1-113	1939-1973
助産婦雑誌	39(3-12), 40(2-12), 43(2-3)	1985-1989
助成研究	1-12+	1998-2001
助成財団	1,3-28,30,33-35,37-40	1987-1995
科学	38(4-12), 39-70+	1968-2000
科学朝日	28(2,4-6,8-11), 29-37, 38(1-8,10-12), 39-55, 56(1-3)	1968-1996
解剖学雑誌	24(2-4), 25-27, 28(3-6), 29, 30(1-5), 31-71	1949-1996
感覚統合障害研究	1(1), 3-4, 5(1)	1988-1994
からだの科学	158	1991-1991
からだの科学 増刊	5-6,21	1987-1989

雑誌名	所蔵巻号	期間
血管と内皮	7(2-6), 8-9+	1997-1999
健康な子ども	17(1), 18(4,6-9)	1988-1989
基礎心理学研究	1-2, 3(1) 4, 5(2)	1982-1986
公害研究	1(1-3)	1971-1972
こころの科学	30-32, 35, 39, 41-45, 47-48, 51-53, 55-58, 60	1990-1995
MASIS news	4(5-6,8-11), 5(2-12), 6, 7(1-3,5-12), 8-12, 13(1-2,4), 14(3,6-12), 15(1-5,8-12), 16(2-5)	1983-1995
ミクروسコピア	2(4), 5(2-4), 6-7, 8(1-2,4), 9, 10(1-2)	1985-1993
民族学研究 (日本民族学協会)	12(1-2,4),13(4)	1947-1948
民族学研究 (日本民族学会)	29-33,35-38	1964-1974
モダンメディスン	17(3), 18(1-7), 19(7,10)	1988-1990
Molecular Medicine	30-37+	1993-2000
モンキー	1-44+	1957-2000
日本不妊学会雑誌	21(1,3-4), 22(4), 25(4), 29(1-3), 30, 31(1,3-4), 32(1-2,4), 33(1-2,4), 34(1-2,4)	1976-1989
日本学術会議月報	9(1), 10, 11(2,11-12), 12(1-7,10-12), 13-14, 15(4-11), 16(1-2,5-11),17, 18(1-5,7-12), 19(1-4,6-12), 20, 21(1-5,7-12), 22(1-4,6,8-12), 23(2,4-7), 24(5-11), 28, 29(1-6,10-12), 30-35	1968-1994
日本平滑筋学会雑誌	12(2-3),13(1-4)	1976-1977
日本法医学雑誌	25-26,27(1-3,6),28-36,37(1-3,5-6),38-48,49(1-4)	1971-1995
日本醫事新報	2459,2461,2464-2466,2476-2592	1971-1973
日本医史学雑誌	28(2-4),29-30,31(1-3),32-35	1982-1989
日本内分泌学会雑誌	51(9-12), 52-53, 54(1-8,10-12), 55-56, 57(1-3,5-12), 58, 59(1-3,10-12),60(1-8), 61(4-12), 62,63(1-3)	1975-1987
日本音響学会誌	42(4-12),43-54	1986-1998
日本臨牀	33(6), 37(6),39(2), 40(2,5,7,12), 41(8),43(4), 46(5),48(11)	1975-1990
日本産科婦人科学会雑誌	26(8), 29(5,8,11), 30(11), 31(8,10,11), 32(10-11), 33(4), 34(1,3), 35(1,12), 36(1-8,11-12), 37(1-11), 38(1-4)	1974-1986
日本生気象学会雑誌	16(1-2), 17-18, 19(1,3), 20(1-2), 21,22(1-2), 23(1-2), 24(1)	1974-1987
日本生理学雑誌	26(2), 27(2), 28(5,8), 30(2-7, 9-12), 31-51, 52(1-6,8-12), 56(6,8-10)	1964-1995
日本生態学会誌	15-19	1965-1969
日本體質学雑誌	17(4-6),18-19,20(1-2,4-6),21(1-3,5-6),22,23(1-4,6),24(1)	1952-1959
脳波と筋電図	1-6, 7(1-2,4), 8-12, 13(2-4), 14(2-4), 15(3-4), 16-22,23(2-4), 24(1)	1972-1996
脳研究	3-6	1949-1950
脳と神経	24-45	1972-1993
農林省林業試験場年報	45	1970-1970
林業試験場研究報告	48,55, 75, 246-305, 307-314, 316-318, 320-321, 323-325, 327-328	1972-1984
林業試験場研究報告. 林業	331-334, 336-337, 339, 341-344, 346, 348-349, 351, 353-354	1984-1989
林業試験場研究報告. 林業・林産	355	1989-1989
臨床科学	11(1-6,10), 13(4), 17(9), 19(6,11), 20(3,5,10-11)	1975-1986
ラボラトリーアニマル	1-4,5(1)	1984-1988
霊長類研究	1-16+	1985-2000
臨床検査	15(1,3-12), 16-44+	1971-2000
最新医学	26-29, 30(1-11)	1971-1975
産婦人科の世界	23-24, 25(1), 34(8)	1971-1982
産科と婦人科	38(1-3, 5-12), 39(1-11), 40(1)	1971-1973
生物物理	6(1), 10(3,6), 11-14, 15(1)	1966-1975
生物科学	28-52+	1976-2000
生物科学ニュース	65-112, 114-352+	1977-2001
生理生態	1-17	1947-1976
生体の科学	21(5-7), 22-25, 26(1-3,6), 27-41, 2(1,3-4,6), 43-51+	1970-2000

雑誌名	所蔵巻号	期間
神経研究の進歩	10(4), 13(4),16-19, 21(4), 22(4-6),24(6), 25(1-2,5), 26(2,5-6), 30(5-6), 31(4,6), 32(3-6)	1966-1988
神経精神薬理	7(1-7,9-12)	1985-1985
心理學研究	47(6), 48(2-6), 49-53, 54(1-2), 55-58, 59(1-5)	1977-1988
姿勢研究	1-11	1981-1992
自然	23-38,39(1-5)	1968-1984
自然史研究	1	1968-1984
綜合臨牀	18(5),25(9-10),31(2,10),33(11)	1969-1984
体力科学	33-38,39(1-5),40-41,42(2-5),43(2-6)	1984-1994
代謝	23-29	1986-1992
蛋白質・核酸・酵素	6(11), 7(7,13), 8(5), 9(4-15),10(1-6,8, 10-16), 11-14, 15(1-4,6-12), 16-34, 35(1-3,5-13,15-16), 36(2-15), 37(1-10,12-16), 38(1-2,4-5,8-9,11-14,16), 39, 40(1-5,7-9,11-17), 42-44	1961-1999
東南アジア研究	1-4; 2-38+	1963-2001
土の声・民の声	84-94	1978-1979
野生生物保護	2-5+	1996-2000
在来家畜調査団報告	1-5	1964-1972
在来家畜研究会報告	6-10	1974-1983
全日本鍼灸学会雑誌	34, 35(1)	1984-1985
科学新聞	1679-1685, 1687-1756, 1758-1856, 1858-2844+	1977-2001
地質科学 (中国雑誌)	1973-1975, 1976(1-3), 1977-1990	1973-1990
動物学報 (中国雑誌)	19-21, 22(1-2,4), 23-40, 41(2-4), 42,43(1-3)	1973-1997
動物学研究 (中国雑誌)	2,3(1), 4(1,3-4), 5(1,3-4), 6-12, 13(1-3), 14-19, 20(2-5),21+	1981-2000
人類学学報 (中国雑誌)	1(1-2),2-18+	1982-1999
考古学報 (中国雑誌)	1973-1990	1973-1990
古脊椎動物学報 (中国雑誌)	22-38+	1984-1999
古脊椎動物与古人類 (中国雑誌)	11(1-2), 12-13, 14(1-3), 15-16, 17(1), 18-19, 20(1-3), 21(2-4)	1973-1983
植物学報 (中国雑誌)	15(1-2), 16-32	1973-1990

(4) 欧文雑誌リスト

雑誌名	所蔵巻号	期間
Abstracts (Society for Neuroscience)	3-20	1977-1994
Abstracts and Reviews in Behavioral Biology	9	1972-1972
Acta Endocrinologica	75-80	1974-1975
Acta Endocrinologica.Supplementum	181-201	1974-1975
Acta Neurobiologiae Experimentalis	30(4),31-56	1970-1996
Acta Neurobiologiae Experimentalis.Supplementum	1	1971-1971
Acta Physiologica Scandinavica	78-137	1970-1989
Acta Physiologica Scandinavica.Supplementum	332-586	1969-1989
Acta Physiologica Scandinavica.Special Supplementum	1978	1978-1978
Advances in Enzymology and Related Areas of Molecular Biology	40-56	1974-1984
Advances in Protein Chemistry	28-36	1974-1984
African Journal of Ecology	17-38+	1979-2000
American Anthropologist N.S.	70-101+	1968-1999
The American Journal of Anatomy	139-192	1974-1991
The American Journal of Human Biology	9-12+	1997-2000
The American Journal of Human Genetics	20-67+	1968-2000
American Journal of Obstetrics and Gynecology	109(3-8),110-147	1971-1983

雜誌名	所藏卷号	期間
American Journal of Physical Anthropology. N.S.	10-11,13-14,17-114+	1952-2001
American Journal of Physical Medicine	50-57	1971-1978
American Journal of Physiology	222-243	1972-1982
American Journal of Physiology. Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	1-10	1977-1981
American Journal of Primatology	1-53+	1981-2000
The American Naturalist	106-156+	1972-2000
The American Psychologist	7(1,3-6),29-51	1952-1996
Analytical Biochemistry	57-135	1974-1983
The Anatomical Record	166-234,235(1)	1970-1993
Anatomischer Anzeiger	126-173	1970-1991
Animal Behaviour	17-60+	1969-2000
Animal Cognition	2+	1999-1999
Animal Learning and Behavior	1-19,20(1-2,4),21-28+	1973-2000
Annals de la Fondation Fyssen	1-4, 7-9, 11-14	1985-1999
Annals of Anatomy	174-177	1992-1995
Annals of the New York Academy of Sciences	115(2),117(1),118(12,21),134(2),147(4),156(2), 157(2),159(3),160(1),162(1),164(3),166(3), 167(1),169(1,3),299,331,341-342, 344, 346, 370, 374, 425, 453, 473, 500, 512, 560, 620, 862	1964-1998
Annual Review of Biochemistry	1-3,5-10,18-19,21-22,35-41,43-69+	1932-2000
Annual Review of Ecology and Systematics	1-31+	1970-2000
Annual Review of Physiology	25-53,55-56	1963-1994
Annual Review of Psychology	8-10,16-46,48-50+	1957-1999
Anthropological Quarterly	41-73+	1968-2000
Anthropologie	72-74,100-102	1968-1998
Anthropologischer Anzeiger	31-53	1968-1995
Archives Italiennes de Biologie	106-113	1968-1975
Archives Suisses d'Anthropologie Generale	32-34,37	1967-1973
Australian Journal of Zoology	22-32	1974-1984
Australian Journal of Zoology. Supplementary series	24-103	1974-1984
Behavior Research Methods and Instrumentation	1-15	1969-1983
Behavior Research Methods, Instruments, and Computers	16-32+	1984-2000
Behavioral and Brain Sciences	1-13,15	1978-1992
Behavioral and Neural Biology	25-62	1979-1994
Behavioral Biology	7-24	1972-1978
Behavioral Ecology and Sociobiology	1-12,13(1-3),14-48+	1976-2000
Behavioral Neuroscience	97-114+	1983-2000
Behavioral Science	1-7,10-22	1956-1977
Behaviour	33-137+	1969-2000
Behavioural Brain Research	2-6,8-16,18-55	1981-1993
Bibliography of Reproduction	17-26	1971-1975
Biochemical and Biophysical Research Communications	38-125	1970-1984
Biochemical Genetics	16-38+	1978-2000
Biochemical Journal. Cellular Aspects	186-216	1980-1983
Biochemical Journal. Molecular Aspects	185-215	1980-1983
Biochemical Society Transactions	8-11	1980-1983
Biochemistry	13-23	1974-1984
Biochimica et Biophysica Acta	27-36,49,51,53-54,60	1958-1962
Biochimica et Biophysica Acta. Protein Structure	P30-P68,P70-P76	1974-1981
Biochimica et Biophysica Acta. Protein Structure and Molecular Enzymology	P1-P10	1982-1982

雑誌名	所蔵巻号	期間
Biochimica et Biophysica Acta. Specialized Section on Nucleic Acids and Related Subjects	55	1962-1962
Biological Conservation	43-96+	1988-2000
Biology of the Neonate	26-29	1975-1976
Blood Vessels	19-28	1982-1991
Brain	84-107,109-115,120-123+	1961-2000
Brain and Cognition	30-44	1996-2000
Brain and Language	3-41,76+	1976-2001
Brain, Behavior and Evolution	1-52	1968-1998
Brain, Behavior and Immunity	1-3	1987-1989
Brain Research	1-312,314-387,389-501,503-599	1966-1992
Brain Research Bulletin	3-17,19-23	1978-1989
Brain Research Reviews	1-4,5(1-2),6-17	1979-1992
Bulletin de l'Academie Malgache N.S.	44(2),52(1-2),53(1-2)	1966-1975
Bulletin of the Psychonomic Society	1-31	1973-1993
Bulletins et Memoires de la Societe d'Anthropologie de Paris.Ser.12	3-4,6	1968-1970
The Canadian Journal of Neurological Sciences	4-19	1977-1992
Canadian Journal of Psychology	19-30	1965-1976
Carnivore	2(3-4),3-7	1980-1984
Cell	52(3-4),53(2-6),54-65,66(1,3-6),67-75	1988-1993
Child Development	62-71+	1991-2000
Cladistics	1-16+	1985-2000
Clinical Microbiology Newsletter	4(19-24),5-6,7(1-7,9-24),8-16,17(1-15),18(1-2,4-24),19-22+	1982-2000
Cognition	38-78+	1991-2001
Cognition and Brain Theory	4	1981-1981
Communications in Behavioral Biology.Pt.A.	1-6	1968-1971
Communications in Behavioral Biology.Pt.B.	1-8	1968-1971
Comparative Medicine	50+	2000-2000
Comptes rendus de l'Académie des sciences. Série II, Sciences de la terre et des planètes	328-331+	1999-2000
Conditional Reflex	4-6	1969-1971
Conservation Biology	14+	2000-2000
Cortex	9-11	1973-1975
CSA Neurosciences Abstracts	1	1983-1983
Current Anthropology	1-41+	1960-2000
Current Contents.Behavioral,Social & Management Science	1(1-19,21,23-42),2	1969-1970
Current Contents.Behavioral,Social and Educational Sciences	3-5	1971-1973
Current Contents.Life Sciences	12-15,16(1-17,19-52),19-21,22(1-2,4-52),23-24,25(1-47,49-52),26-33,34(1-4)	1969-1991
Current Contents.Social & Behavioral Sciences	6(6-52),7(1-8)	1974-1975
Current Contents on Diskette (Life Science)	34-40	1991-1997
Current Contents on Diskette (Life Science) with Abstracts	37-43+	1994-2000
Current Opinion in Neurobiology	9-10+	1999-2000
Current Primate References	1967(12),1968-1999	1967-1999
Developmental Brain Research	1-10,12-70	1981-1992
Developmental Dynamics	193-198	1992-1993
Developmental Psychobiology	15-16,17(1-2,4,6),18-19,22-33	1982-1998
Developmental Psychology	1-36+	1969-2000
East African Wildlife Journal	15-16	1977-1978

雑誌名	所蔵巻号	期間
Ecological Monographs	40-70+	1970-2000
Electroencephalography and Clinical Neurophysiology	1-41,48-85	1949-1992
Electromyography	11	1971-1971
Electromyography and Clinical Neurophysiology	12-18	1972-1978
Endocrinology	90-100,101(1-4,6),102-133,134(1-5),135-141+	1972-2000
Ethology	71-106+	1986-2000
Ethology and Sociobiology	1(1-4),2(1),5-17	1979-1996
Evolution	30-55+	1976-2000
Evolution and Human Behavior	18-21+	1997-2000
Evolutionary Anthropology	1(1),2-5	1992-1996
Excerpta Medica.Sect.1	22-24	1968-1970
Excerpta Medica.Sect.10	24,25(1-10)	1971-1972
Experimental Brain Research	1-30,31(1-2,4),32-102	1966-1994
Experimental Neurology	1-118	1959-1992
The FASEB Journal	1-8,9(1-11,13-14),10-14+	1987-2000
Federation Proceedings	29-46	1970-1987
Fertility and Sterility	23-24,25(1-3,7-12),26-38	1972-1982
Folia Primatologica	1-71+	1963-2000
General and Comparative Endocrinology	46-60	1982-1985
Genetics	88-156+	1978-2000
Gorilla	8-22+	1984-2000
Hereditas	96-123	1982-1995
Hormones and Behavior	2-16	1971-1982
Human Biology	40-71+	1968-1999
Human Ecology	2-28+	1974-2000
Human Evolution	1(1-5),2-14+	1986-1999
Human Molecular Genetics	1-8	1992-1999
Infant Behavior and Development	19-22+	1996-2000
International Immunology	1,2(1-10)	1989-1990
International Journal of Andrology	1-12	1978-1989
International Journal of Andrology.Supplement	1-2	1978-1978
International Journal of Neuroscience	21-35,38-64,67-72	1983-1993
International Journal of Osteoarchaeology	1-10+	1991-2000
International Journal of Primatology	1-21+	1980-2000
IPPL Newsletter	[1-5],[10-13],14-22,23(1-2),24-27+	1974-2000
IUCN/SSC Primate Specialist Group Newsletter	1-4	1981-1984
Japanese Journal of Physiology	15,16(2-6),17(1-3,5-6),18-21,22(2-6), 23-28,29(2-4),30-38	1965-1988
Japanese Psychological Research	18(4),19-28,29(2-4),30(1-2)	1976-1988
Journal of the Acoustical Society of America	83-88, 89(1-3,5-6), 90(1-3,5-6), 91(1-3,5-6), 92(1,3-6), 93(1-3,5-6), 94(1,4-6), 95(1-4,6), 96(1,3-4,6), 97(1-4,6), 98(1,3-4,6), 99(1-3,5-6), 100(1,3,5-6), 101(1-4,6), 102(1,3-4,6), 103(1- 4,6), 104(1,4-6), 105(1,3-6), 106(1-2,5-6)	1988-1999
Journal of the Acoustical Society of Japan (E)	7(3-6),8-19	1986-1998
Journal of the American Veterinary Medical Association	160-163	1972-1973
The Journal of Animal Ecology	39-68,69(1,3-6)+	1970-2000
Journal of Anthropological Research	29-52	1973-1996
Journal of Applied Physiology	32-41	1972-1976
Journal of Applied Physiology. Respiratory, Environmental and Exercise Physiology	42-49	1977-1980
Journal of Archaeological Science	26-27+	1999-2000

雑誌名	所蔵巻号	期間
Journal of Biochemistry	63-128	1968-2000
The Journal of Biological Chemistry	249-275+	1974-2000
Journal of Biomechanics	7-13,14(1-2)	1974-1981
Journal of the Bombay Natural History Society	58(2-3),59(1-2)	1961-1962
Journal of Bone and Joint Surgery.American Volume	52-59	1970-1977
Journal of Bone and Joint Surgery.British Volume	52-59	1970-1977
Journal of Child Language	17-27+	1990-2000
Journal of Cognitive Neuroscience	11-12+	1999-2000
Journal of Comparative Neurology	138-276,278	1970-1988
Journal of Comparative and Physiological Psychology	59-96	1965-1982
Journal of Comparative Psychology	97-114+	1983-2000
The Journal of Ecology	58-88+	1970-2000
Journal of Endocrinology	49-67	1971-1975
Journal of Ethology	5-7	1987-1989
Journal of the Experimental Analysis of Behavior	1-67,68(2-3),69-70	1958-1998
Journal of Experimental Child Psychology	51-66,67(2-3),68-71	1991-1998
Journal of Experimental Psychology	37-39,40(1-2,4-6),41,42(1-2,4-6),43,45(1-3,5-46,47(1-2,4-6),48,57-68,79-103	1947-1974
Journal of Experimental Psychology: Animal Behavior Processes	1-26+	1975-2000
Journal of Experimental Psychology:General	104-129+	1975-2000
Journal of Experimental Psychology. Human Learning and Memory	1-7	1975-1981
Journal of Experimental Psychology: Human Perception and Performance	1-22,23(1-5),24-26+	1975-2000
Journal of Experimental Psychology : Learning, Memory, and Cognition	8-15,16(1,3-6),17-26+	1982-2000
The Journal of General Physiology	12-22,71-100,103-104	1929-1994
Journal of Human Ergology	1-14,18(2),20(1),21	1972-1992
Journal of Human Evolution	1-39+	1972-2000
Journal of Immunology	136-137,138(1-4)	1986-1987
Journal of Mammalian Evolution	1-7+	1993-2000
Journal of Mammalogy	52-81+	1971-2000
Journal of Medical Primatology	1-29+	1972-2000
Journal of Molecular Evolution	3-51+	1974-2000
Journal of Neurochemistry	22-32,33(1-2,4-6),34-43	1974-1984
Journal of Neurophysiology	29,31-38	1966-1975
Journal of Neuroscience Methods	1,3-9	1979-1983
Journal of Physiology	106-144,145(1,3),146-147,148(1-2),149(1,3),150-489	1947-1995
Journal of Reproduction and Fertility	32-120+	1973-2000
Journal of Speech and Hearing Research	34-35,36(1,3-6),37-38,39(3-6),40-43+	1991-2000
The Journal of the Royal Anthropological Institute	1-6+	1995-2000
Journal of Theoretical Biology	56-69,196-207+	1976-2000
Journal of Tropical Ecology	1-15	1985-1999
Journal of Vascular Research	29-37+	1992-2000
The Journal of Wildlife Management	33-64+	1969-2000
Laboratory Animal Care	20	1970-1970
Laboratory Animal Science	21-49	1971-1999
Laboratory Animals	1-28,29(2-4),30-34+	1967-2000
Laboratory Primate Newsletter	4-34,35(1,3-4),36-39+	1965-2000
Learning and Motivation	22-31+	1991-2000
Life Sciences.Pt.1	11,12(1-9)	1972-1973
Malayan Nature Journal	17,18(1)	1963-1964

雑誌名	所蔵巻号	期間
Mammalia	44-64+	1980-2000
Man N.S.	3-29	1968-1994
Memory and Cognition	1-19,20(1-5),21-28+	1973-2000
Molecular Biology and Evolution	14(1,3-12),15-16	1997-1999
Molecular Brain Research	1,3-16	1986-1992
Molecular Ecology	8	1999-1999
National Geographic	146-198+	1974-2000
Natural History	102(3-12),103-105,106(1-2)	1993-1997
Nature	166-167,169-180,185-409+	1950-2001
Nature Genetics	1-11,12(1-3),13-27+	1992-2001
Nature Neuroscience	2-3+	1999-2000
Nature.New Biology	229-246	1971-1973
Nature.Physical Science	229-246	1971-1973
Neurobiology of Aging	15-19	1994-1998
Neurobiology of Learning and Memory	63-74+	1995-2000
Neuroendocrinology	7-50	1971-1989
Neuropharmacology	25-31	1986-1992
Neuropsychologia	1-36	1963-1998
Neuroreport	2(1-2,7-8),3(1,7,9-12),3(1,7,9-12), 4(1-3,5-7,10-12)	1991-1993
Neuroscience	1-63	1976-1994
Neuroscience Abstracts	2	1976-1976
Neuroscience Letters	2-116,118-140,142-146	1976-1992
Neuroscience Letters. Supplement	1-29	1978-1987
Neuroscience Research	1-32	1984-1998
Neuroscience Research. Supplement	1-14,16,21	1985-1997
Neuroscience Research Communications	1-5,6(1)	1987-1990
Neuroscience Research Program Bulletin	9-12,13(1-3),14(1-2),15-17	1971-1979
Nucleic Acids Research	19-25,26(2-24),27	1991-1999
Oikos	25-83	1974-1998
Oryx	12-13,14(1-4),15(1-5),16(1-3)	1973-1982
Perception	28-29+	1999-2000
Perception and Psychophysics	19-62+	1976-2000
Perceptual and Motor Skills	28-43	1969-1976
Physics Today	41(9-12), 42-44, 45(1-5,7-12), 46-47, 48(1-10,12), 49(1-2,5-12), 50(1-2,4-12), 51, 52(1-10,12), 53, 54(1-4)	1988-2001
Physiological Psychology	1-14	1973-1986
Physiological Reviews	50-69,70(1),76-80+	1970-2000
Physiological Zoology	45-53	1972-1980
The Physiologist	13-18,19(1,4),20,22-23	1970-1980
Physiology and Behavior	1-48,49(1-3)	1966-1991
Physiology and Ecology Japan	18-31+	1981-1995
Primate Conservation	5-9	1985-1992
Primate Eye	30-57,59-64,66-72+	1986-2000
Primate News	[5-24]	1967-1990
Primate Report	8-58+	1981-2000
Primates	1-41+	1957-2000
Proceedings of the Australian Physiological and Pharmacological Society	1(1-2),2(1),3(1),4(2),5(1-2),6-12,13(1),14(2)	1970-1983
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	14-15,65-67,71-79,80(1-13,15-24),81-97+	1928-2000
Proceedings of the Royal Society of London.	175(1039-1041),176(1042)	1970-1970
Ser.B,Biological Sciences		
Prostaglandins	1-13	1972-1977

雑誌名	所蔵巻号	期間
Psychobiology	15-26	1987-1998
Psychological Abstracts	39-62,64-68,69(4-6),70	1965-1983
Psychological Bulletin	38(2-3,5-8),40-86,87(1-3),88-126+	1941-2000
Psychological Review	17(1-2),54,56(1,3-6),57-59,60(1-2,4-6), 62-63,64(3-6),65-108+	
Psychonomic Bulletin and Review	1-7+	1994-2000
Psychonomic Science	1-11,12(1-4),13(4-6),14-29	1964-1972
The Quarterly Journal of Experimental Psychology Section A	43-53+	1991-2000
The Quarterly Journal of Experimental Psychology Section B	43-53+	1991-2000
Recent Literature of Mammalogy	55-66	1974-1985
Researches on Population Ecology	8-9	1966-1967
Science N.S.	151-291+	1966-2001
Scientific American N.S.	126-151,217(4-6),218,219(1-3,6),220-283+	1921-2000
The Scientific Reports of the Whales Research Institute	1-5,10,16-38	1948-1987
The Scientist	2-3,4(1,14)	1988-1990
Southwestern Journal of Anthropology	24-28	1968-1972
Soviet Anthropology and Archeology	6(4),7-18	1967-1979
Soviet Psychology	6(3-4),7-8,9(1-2)	1968-1971
Species	25-29	1995-1997
Symposia of the Zoological Society of London	1-4,8,10,13-15,17-18,21,23-24,26,33,46, 48-49,51,60	1960-1988
Systematic Biology	41-49+	1992-2000
Systematic Zoology	25-40	1976-1991
La Terre et la vie	30-36,37(1-2),38(1-2),39-54	1976-1999
Trends in Neurosciences	1-3,4(1-6,8-12),5(1-11),6(1-7,9-12), 7(1-10,12),8-10,11(1-3,5-9,11-12), 12(1-7,9-12),13(2,4-6,8-12),14(3)	1978-1991
Vision Research	1-39	1961-1999
Wildlife Monographs	19-146+	1970-2001
Wildlife Society Bulletin	1-3,23-28+	1973-2000
Yearbook of Physical Anthropology	3-8,10-11,13-15,18-42+	1947-1999
Zeitschrift für Morphologie und Anthropologie	59(3),60-82+	1967-1999
Zeitschrift für Säugetierkunde	1-3,4(1-2,4-6),5-7	1926-1932
Zeitschrift für Tierpsychologie	1,52-70	1937-1985
Zeitschrift für Versuchstierkunde	14-20	1972-1978
Zoological Science	1-16	1984-1999
Нейрофизиология	2-4,5(2-6),6-7	1970-1975

(5) 継続図書リスト

書名	所蔵巻号	期間	請求記号
Advances in Child Development and Behavior	1-27+	1963-2000	159.92 A
Advances in the Study of Behavior	1-28+	1965-1999	159.929+591.5 A
Contributions to Primatology	1-26	1974-1991	599.8 C
Evolutionary Biology	1-32+	1967-2000	574/578 E
Modern Quaternary Research in Southeast Asia	1-16+	1975-2000	551.79(59) M
Nebraska Symposium on Motivation	16-46+	1968-2000	159.94 N
Oxford Surveys in Evolutionary Biology	1-9	1984-1993	576.1 O
The Psychology of Learning and Motivation	1-38+	1967-1998	159.94+159.95 P

霊長類研究所図書室利用規定

I. 開室時間と休室

1. 開室時間

平日：9時から17時まで。

2. 休室

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始は休室とする。

その他の臨時休室は、その都度掲示する。

II. 閲 覧

1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の所員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員で、閲覧者カードを提出する者。
- 3) 1)、2)以外の、京都大学に所属する者で、所属図書施設の紹介のある者。
- 4) 本研究所教職員の紹介のある者。

2. 閲 覧

- 1) 閲覧者は図書室内で図書(単行本、雑誌、その他の資料)を自由に閲覧できる。
- 2) 閲覧後の図書は必ずもとの場所にもどす。

III. 貸出および返却

1. IIの1の1)及び2)の該当者は、下記に従い図書を借用できる。すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。

1)借用資料の種類と借用方法

a. 単行本

- (1) 単行本は1カ月間借用できる。
- (2) 借用時には、ブックカードおよび代本版用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本版用紙は代本版の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。

b. 製本雑誌

- (1) 製本雑誌は3日間借用できる。
- (2) 借用方法は単行本に準じる。

c. 未製本雑誌

- (1) 未製本の雑誌は15時から翌朝10時までの間に限り借用できる。
- (2) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。

d. 別刷

- (1) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。

- (2) 利用後は、返却台の箱に返却する。

e. 他機関からの借用資料

- (1) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。
- (2) 利用後は図書係員に返却する。
- 2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。
- 3) 借用中の資料を転貸してはならない。
- 4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。ただし、他に借用希望者がある時は、そちらを優先する。
- 5) 借用後の図書は返却台に返却する。
2. IIの1の3)の該当者は、所属の図書施設を通じて借用を依頼することができる。借用資料は単行本のみで、所属図書施設内での利用に限る。借用期限は2週間とするが、本研究所所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

IV. 総点検および長期貸出

1. 毎年1回図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。
2. 総点検期間中、原則として図書室は休室とする。
3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

V. その他

1. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。
2. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。
3. 書庫および閲覧室内は禁煙とする。

(昭和51年制定)

平成10年7月8日一部改正)

4. 資料

霊長類研究所の所蔵する資料は、骨格標本、化石模型、液浸標本などからなる。これらの資料は、基本的にすべて公開されており、多くはデータベース化されている。資料委員会の許可のもと、使用希望者に提供され、貸し出しも行っている。他機関所蔵の資料との交換もしている。

(1) 霊長類骨格資料 (表1)

現在、登録された標本は、別表のように、8346体にのぼる。その半数以上がマカク類を中心とした旧世界ザルである。新世界ザルの標本は、約1400体ある。類人猿およびツバイを含む原猿類の標本は、それぞれ数十点ずつである。

(2) 霊長類以外の骨格標本 (表2)

霊長類以外の骨格標本は、大部分が哺乳類である。特にタヌキ、キツネ、ツキノワグマ、テン、イタチ、イノシシ、シカ、カモシカなどの日本産哺乳類を多く所蔵している。日本産の野生動物が減少している現在、これらの資料は貴重なものとなっている。

骨格標本はすべて、研究所新棟4階と本館地下の骨格資料室の移動式標本架に保管されている。種ごとに分けられ、種のなかでは標本番号の順に棚に並べられている。使用希望者は資料室に設置されたコンピューター上で骨格標本データベースを検索することができる。データベースで利用できる情報は、標本番号、種番号、属名、種名、登録日、性別、体重、座高、前胴長などである。

(3) 化石模型標本

化石人類、化石霊長類の模型標本は新棟4階の展示室に保管している。そのうち代表的な化石の模型は研究所見学者むけに公開している。これらは比較研究用の資料として所外の研究者にも利用されており、データベースによって化石模型の分類名、産地、部位などは、検索することができる。

(4) その他の標本

液浸標本数百点、被毛標本数十点が保管されている。液浸標本は、共同利用研究者などを対象に、研究や教育の資料として提供されている。これらについても、データベース化が進行中である。

このように本研究所の骨格資料は電子データベース化され、国内外の研究者に有効に利用されている。資料委員会は、新しい標本の作製・受け入れもおこなっており、毎年約300体の霊長類標本が追加されている。資料の一層の充実のため、野外調査などの際に、霊長類およびその他の標本の採集にご協力をいただきたい。

本研究所資料室で登録・保管する他、データのみ登録も受け付けています。霊長類研究所資料委員会(委員長 毛利俊雄)までご連絡ください。

(文責: 本郷一美)

2000年度(平成12年度)所蔵骨格資料

表1 霊長類骨格資料

和名	学名	標本数	和名	学名	標本数
類人猿	Hominoidea	75	新世界ザル	Ceboidea	1409
テナガザル属	<i>Hylobates</i> spp.	50	リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	985
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	22	ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	54
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	2	ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	49
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	1	ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	48
旧世界ザル	Cercopithecoidea	5426	クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	7
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	3768	ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3
ラングール属	<i>Presbytis</i> spp.	176	ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	16
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	362	オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	81
コバナテングザル属	<i>Simias concolor</i>	132	サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	13
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	558	ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1
バタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	15	ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	15	ビグミーマーモセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	6
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	383	マーモセット属	<i>Callithrix</i> spp.	54
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	17	タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	85
			ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6
			原猿類(含ツバイ) Prosimii & Tupaia		61
				総計	6971

表2 その他の骨格資料

和名	学名	標本数	和名	学名	標本数
食肉目	Carnivora	911	ウサギ目	Lagomorpha	10
イヌ科	Canidae	552	ウサギ科	Leporidae	9
ネコ科	Felidae	23	ナキウサギ科	Ochotonidae	1
クマ科	Ursidae	132	食虫目	Insectivora	1
アライグマ科	Procyonidae	4	モグラ科	Talpidae	1
イタチ科	Mustelidae	180	有袋目	Marsupialia	4
ジャコウネコ科	Viverridae	19	オボッサム科	Didelphidae	2
不明		1	ウォンバット科	Vombatidae	1
奇蹄目	Perissodactyla	8	クスクス科	Phalangeridae	1
ウマ科	Equidae	6	貧歯目	Edentata	2
バク科	Tapiridae	2	フタユビナマケモノ科	Megalonychidae	2
偶蹄目	Artiodactyla	346	長鼻目	Proboscidae	1
ウシ科	Bovidae	50	クジラ目	Cetacea	9
シカ科	Cervidae	35	マイルカ科	Delphinidae	9
イノシン科	Suidae	257	鰐目	Pinnipedia	12
ベッカリー科	Tayassuidae	3	アシカ科	Otariidae	12
不明		1		哺乳類計	1370
げっ歯目	Carnivora	66		爬虫類	4
ネズミ科	Muridae	20		魚類	1
リス科	Sciuridae	33		総計	1375
テンジクネズミ科	Caviidae	3			
ヌートリア科	Myocastoridae	1			
ヤマアラシ科	Hystriidae	1			
オマキヤマアラシ科	Erethizontidae	1			
カビバラ科	Hydrochoeridae	1			
バカ科	Agoutidae	2			
不明		4			

5. サル類飼育頭数・動態

2000年度(平成12年度)末 飼育頭数

種名	頭数	種名	頭数
オオガラゴ	1	タイワンザル	13
コモンマーモセット	31	ブタオザル	2
ワタボウシタマリン	25	ベニガオザル	1
ヨザル	14	ボンネットザル	9
リスザル	6	カニクイザル	45
フサオマキザル	19	スラウエシマカク	1
ケナガクモザル	1	マントヒヒ	8
ミドリザル	4	シロテテナガザル	2
ミドリサル×ハオタスサル	2	アジルテナガザル	4
ニホンザル	382	チンパンジー	13
アカゲザル	208	合計	791

2000年度(平成12年度)サル類動態表

区分 種名	増加	減少(死亡など)									
	出産	実験殺	事故死	呼吸器系疾患	消化器系疾患	代謝器系疾患	感染症	外傷死	その他の疾患	剖検不能等	不明
コモンマーモセット	7	6		1				1	3		1
ワタボウシタマリン	6							4	1		
リスザル	1								1		
フサオマキザル	2	1									
パタスザル									1		
ニホンザル	42	13	3	3	5		1		5	5	
アカゲザル	37	17	1	1				1		2	
タイワンザル	1			1							
カニクイザル	5	5			1						
マントヒヒ	1										
チンパンジー	3										
小計	105	42	4	6	6	0	1	6	11	7	1
合計	105						84				

注) (増加頭数)-(減少頭数) 差引頭数
105 - 84 = 21(増加)

6. 人事異動

所 属	職 名	異 動		内 容	備 考
		氏 名	年 月 日		
(採用等) *センター 社会構造	客員教授 助 手	M.A.Huffman 杉浦 秀樹	2000/4/1 2000/8/1	採 用 採 用	外国人研究員 附属ニホンザル野外観察施設 講師(中核的研究機関研究員)より
(退職等) 器官調節 社会構造 生態機構	助 手 教 授 助 手	大蔵 聡 加納 隆至 松村 秀一	2000/10/1 2001/3/31 2001/3/31	転 出 停 年 辞 職	農林水産省畜産試験場へ ダブリン大学トリニティカレッジ研究員へ

*センター：人類進化モデル研究センター

7. 海外渡航

所 属	職 名	氏 名	種 別	期 間	目的国	目 的
系統発生	助 手	高井正成	研修	2000/4/11 ~4/22	アメリカ合衆国	アメリカ形質人類学会出席発表ならびに 研究連絡
形態進化	助教授	濱田 諒	研修	2000/4/26 ~5/9	アメリカ合衆国	マカクの骨成熟・体組成年齢変化研究ならびに 研究打ち合せ
センター	客員 教授	M.A. Huffman	研修	2000/5/9 ~5/23	フランス、 ケニア	「第4回ヨーロッパ民族生薬コロキウム」 及び「薬用植物・伝統医薬・アフリカ地域」 学会出席発表ならびに研究連絡
遺伝子情報	助 手	中村・伸	出張	2000/5/11 ~5/22	オーストラリア	第4回 日豪薬剤シンポジウムへの出席・発表
認知学習	助 手	中村克樹	出張	2000/5/19 ~5/23	アメリカ合衆国	"Brain, Vision, Memory for the Millenium"会議 への参加
社会構造	助教授	大澤秀行	出張	2000/6/6 ~6/28	カメルーン、 フランス、チャド	アフリカ熱帯林における霊長類の生態的適応 研究
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2000/6/7 ~6/12	ドイツ	シンポジウム「チンパンジーの分子変異」出席
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	2000/6/11 ~6/15	ドイツ	国際ワークショップ「チンパンジーとボノボに おける行動の多様性」に出席
認知学習	助 手	中村克樹	出張	2000/6/11 ~6/18	アメリカ合衆国	HBM2000学会への参加、発表および研究打ち 合わせ
社会構造	教 授	加納隆至	研修	2000/6/11 ~6/19	ドイツ	「チンパンジー及びボノボの行動多様性の シンポジウム」学会出席
生態機構	教 授	上原重男	研修	2000/6/11 ~6/19	ドイツ	「チンパンジー及びボノボの行動多様性の シンポジウム」学会出席
センター	客員 教授	M.A. Huffman	研修	2000/6/11 ~6/23	ドイツ	「チンパンジー及びボノボの行動多様性の シンポジウム」学会出席発表ならびに研究連絡
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2000/6/17 ~7/22	インドネシア	オランウータンの生態学的調査と研究連絡
系統発生	助 手	本郷一美	出張	2000/6/17 ~7/24	トルコ共和国	新石器時代遺跡と動物遺存体の分析

所 属	職 名	氏 名	種 別	期 間	目 的 国	目 的
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2000/6/19 ~6/28	インドネシア、 タイ王国	熱帯生物の多様性に関する研究打ち合せ及び 学位審査委員会出席
形態進化	教 授	片山一道	出張	2000/7/1 ~7/23	連合王国、 スウェーデン	古人骨および動物遺物の総合台帳を整備作成 する研究
系統発生	助 手	高井正成	出張	2000/7/11 ~8/22	アメリカ合衆国、 コロンビア	霊長類化石発掘調査
社会構造	助教授	大澤秀行	出張	2000/7/14 ~9/3	カメルーン、 フランス、チャド	アフリカ熱帯林における霊長類の生態的適応 研究
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2000/7/18 ~7/21	大韓民国	国際セミナー「遺伝的変異をもったサルのプリー ディングコロニーの設立」参加及び研究連絡
生態機構	助教授	森 明雄	出張	2000/7/19 ~9/17	サウジアラビア、 エチオピア	ヒヒ類の社会構造の変異に関する生態学的・ 遺伝学的研究
認知学習	助教授	正高信男	出張	2000/7/21 ~7/29	スウェーデン、 トルコ	国際心理学会のシンポジウムでの発表と イスタンブール大学での研究打ち合わせ
遺伝子情報	助 手	浅岡一雄	出張	2000/7/23 ~7/26	韓国	環境物質による生物影響の研究打ち合わせ
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	2000/7/23 ~7/31	スウェーデン、 ドイツ	第27回国際心理学会における招待講演ならびに ウィルヘルマ動物園におけるゴリラとボノボの 行動発達研究
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2000/7/29 ~8/7	インドネシア	スラウェシ・マカクの種間雑種調査
生態機構	助 手	松村秀一	出張	2000/7/30 ~8/11	インドネシア	ジャワ島における色盲ザルの研究
行動発現	教 授	三上章允	出張	2000/7/30 ~8/11	インドネシア	色盲ザルの行動学的・生理学的研究および 研究打ち合わせ
遺伝子情報	教 授	竹中 修	出張	2000/7/30 ~8/11	インドネシア	色盲ザルの捕獲調査および研究打ち合わせ
センター	助 手	後藤俊二	出張	2000/7/30 ~8/11	インドネシア	色盲ザルの捕獲調査および研究打ち合わせ
遺伝子情報	助 手	浅岡一雄	研修	2000/8/7 ~8/13	連合王国	環境に関する遺伝子の研究
形態進化	教 授	片山一道	出張	2000/8/7 ~9/1	ニュージーランド、 トンガ	「ラビタ人からポリネシア人への変容過程を 探る先史学的研究」に関わる現地調査
系統発生	教 授	茂原信生	出張	2000/8/15 ~8/25	中国	中国古代遺跡出土の <i>Macaca</i> 属の調査
系統発生	助教授	相見 満	出張	2000/8/18 ~9/30	アメリカ合衆国	霊長類頭骨資料の収集
生態機構	助 手	松村秀一	出張	2000/8/20 ~11/25	インドネシア、 ベトナム	マカクザルの社会行動および採食行動の 比較研究
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	2000/8/22 ~8/30	アメリカ合衆国	「動物の社会的知性」についてのシンポジウム への参加及び発表
社会構造	教 授	加納隆至	出張	2000/8/28 ~10/3	タンザニア	野生チンパンジーの調査

所 属	職 名	氏 名	種 別	期 間	目的国	目 的
センター	客員 教授	M.A. Huffman	研修	2000/8/28 ～10/3	連合王国、 タンザニア、ケニア	霊長類自己治療行動研究に関する野外調査
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2000/9/16 ～9/22	インドネシア、 タイ王国	日本学術振興会拠点大学方式にかかる インドネシア委員会出席及び研究連絡
センター	助 手	鈴木樹理	出張	2000/9/16 ～9/25	タイ王国	カニクイザルの加齢現象に関する共同研究
形態進化	助教授	濱田 稔	出張	2000/9/19 ～9/24	タイ王国	カニクイザルの身体形態・組成に関する研究
生態機構	教 授	上原重男	出張	2000/9/25 ～12/7	タンザニア	マハレに生息するチンパンジーの生態学的研究
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2000/10/8 ～10/11	タイ王国	生物多様性研究のための国際シンポジウム 出席及び研究連絡
遺伝子情報	助 手	中村 伸	出張	2000/10/12 ～10/21	オーストラリア	第17回国際アレルギー学会での発表および 討論参加
系統発生	教 授	茂原信生	出張	2000/10/15 ～10/24	アメリカ合衆国	新世界ザルを含む真猿類化石の研究
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2000/10/16 ～10/19	大韓民国	国際シンポジウム発表及び研究連絡
集団遺伝	助教授	川本 芳	出張	2000/10/17 ～11/15	ブータン、 インド、タイ王国	ブータンの野生霊長類調査
系統発生	助教授	相見 満	出張	2000/10/17 ～11/15	ブータン、 インド、タイ王国	ブータンの野生霊長類調査
集団遺伝	非常勤 研究員	山根明弘	出張	2000/10/31 ～12/1	サウジアラビア、 エリトリア	ヒヒ類の捕獲および血液採集・行動観察
行動発現	教 授	三上章允	出張	2000/11/3 ～11/12	アメリカ合衆国	第30回北米神経科学大会参加並びに関連学術 情報の収集、脳研究の基盤となるサル類飼育法 などについての情報収集
系統発生	助 手	本郷一美	出張	2000/11/6 ～11/14	韓国	遺跡出土資料の計測と分析用試料の採取
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2000/11/6 ～11/25	インドネシア	東カリマンタン州のオランウータンの生態学的 研究
集団遺伝	教 授	庄武孝義	出張	2000/11/11 ～12/2	サウジアラビア、 エリトリア	ヒヒ類の社会構造の変異に関する生態学的・ 遺伝学的研究
遺伝子情報	助 手	浅岡一雄	出張	2000/11/11 ～12/9	インドネシア	カニクイザルの環境調査
センター	客員 教授	M.A. Huffman	研修	2000/11/12 ～11/27	アメリカ合衆国	シンポジウム「動物の社会学習と伝統社会」 出席及び研究連絡
系統発生	助 手	本郷一美	出張	2000/12/11 ～12/25	トルコ共和国	新石器時代遺跡と動物遺存体の分析と来年度の 調査についての協議
形態進化	助 手	國松 豊	出張	2000/12/19 ～12/30	タイ王国	タイ北部における化石発掘調査
形態進化	助教授	濱田 稔	出張	2000/12/19 ～2001/2/3	ガボン、 フランス	ガボンに生息する大型類人猿をはじめとする 真猿類の形態学的研究調査

所 属	職 名	氏 名	種 別	期 間	目 的 国	目 的
社会構造	助教授	大澤秀行	出張	2000/12/28 ~2001/1/14	オーストラリア	第18回国際霊長類学会大会での発表および 霊長類の成長・性的発達に関する資料収集・ 研究連絡
器官調節	助 手	清水慶子	出張	2001/1/5 ~1/14	オーストラリア	第18回国際霊長類学会大会への出席・発表
思考言語	助教授	友永雅己	出張	2001/1/6 ~1/13	オーストラリア	第18回国際霊長類学会大会への出席
野外施設	助 手	室山泰之	出張	2001/1/6 ~1/14	オーストラリア	第18回国際霊長類学会大会での発表および 霊長類における行動生態の地域変質に関する 資料収集
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2001/1/6 ~1/14	オーストラリア	第18回国際霊長類学会出席
遺伝子情報	助 手	中村 伸	研修	2001/1/7 ~1/11	フィリピン	カニクイザルの血栓症モデルに関する研究 打ち合せ
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2001/1/9 ~3/9	インドネシア	スラウェシ・マカクの種間雑種個体の繁殖異常 と狭い交雑帯の形成機構についての現地調査
形態進化	教 授	片山一道	出張	2001/1/23 ~3/7	ニューカレドニア、 ニュージーランド、 サモア	「ラビタ人からポリネシア人への変容過程を 探る先史学的研究」のための現地および 海域調査
センター	助 手	鈴木樹理	出張	2001/1/30 ~2/7	タイ王国	内分泌攪乱物質に関する研究のための予備調査
系統発生	教 授	茂原信生	出張	2001/2/1 ~2/11	ミャンマー	化石発掘調査及び比較標本調査
系統発生	助 手	高井正成	出張	2001/2/1 ~3/3	ミャンマー、 インド	化石発掘調査及び比較標本調査
遺伝子情報	教 授	竹中 修	研修	2001/2/3 ~2/5	タイ王国	生物多様性に関する研究連絡
認知学習	助 手	中村克樹	出張	2001/2/4 ~2/11	キューバ	「国際ヒト脳マッピング会議」において研究 成果の発表およびヒト脳の記憶に関する研究 打ち合わせ
センター	助 手	後藤俊二	出張	2001/2/20 ~3/9	インドネシア	スラウェシ・マカクの種間雑種個体についての 現地調査
遺伝子情報	助 手	浅岡一雄	出張	2001/2/20 ~3/19	インドネシア、 タイ王国、韓国	カニクイザルの環境調査
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2001/2/27 ~3/8	インドネシア	オランウータンの生態学的調査と研究連絡
行動発現	教 授	三上章允	出張	2001/3/2 ~3/8	インドネシア	色盲ザルの行動学的・生理学的研究および 研究打ち合わせ
遺伝子情報	教 授	竹中 修	出張	2001/3/4 ~3/8	インドネシア	インドネシアにおける類人猿研究に関する 研究連絡
野外施設	助 手	室山泰之	研修	2001/3/17 ~3/27	インド	国際ワークショップ「マカクの社会と進化」 出席
遺伝子情報	教 授	竹中 修	出張	2001/3/18 ~3/24	タイ王国	ワークショップでの講演およびタイ王国に おけるテナガザルの研究に関する研究連絡

8. 非常勤講師 (氏名：講義題目：日時)

(霊) 川島 隆太 (東北大学医学部附属病院 講師)

「非侵襲的脳機能画像による脳機能マッピング—基礎と応用—」

2000年10月16日(月)～2000年10月17日(火)

(理) 藤田 一郎 (大阪大学大学院基礎工学研究科 教授)

「神経生理学」

2000年9月28日(木)～2000年9月29日(金)

(理) 高畑 尚之 (総合研究大学院大学先導科学研究科 教授)

「集団遺伝学」

2000年11月16日(木)～2000年11月17日(金)

(理) 矢原 徹一 (九州大学大学院理学研究院 教授)

「有性生殖と生物多様性—進化生物学と保全生物学のインターフェース」

2000年12月5日(火)～2000年12月6日(水)

9. リサーチ・アシスタント (R・A)

(氏名：採用期間)

上野 有理：2000年5月1日～2001年3月31日

海野 俊平：2000年5月1日～2001年3月31日

郷 康広：2000年5月1日～2001年3月31日

下岡ゆき子：2000年5月1日～2001年3月31日

竹元 博幸：2000年5月1日～2001年3月31日

西村 剛：2000年5月1日～2001年3月31日

松原 幹：2000年5月1日～2001年3月31日

田代 靖子：2000年5月1日～2000年7月31日

栗田 博之：2000年5月1日～2000年11月30日

10. ティーチング・アシスタント (T・A)

(氏名：採用期間)

打越万喜子：2000年5月1日～2001年3月31日

森 琢磨：2000年5月1日～2001年3月31日

山下 大輔：2000年5月1日～2001年3月31日

ティーチング・アシスタント (全学共通科目に係るもの)

柏原 将：2000年7月1日～2000年8月31日

権田 絵里：2000年7月1日～2000年8月31日

猿渡 正則：2000年7月1日～2000年8月31日

近藤 彩：2000年7月1日～2000年9月30日

山本亜由美：2000年7月1日～2000年9月30日

12. 広報活動

例年広報委員会では、下記の3行事および年報出版、ホームページ公開等により研究所の紹介を行っている。研究所への見学等は例年通り随時受け入れた。

(1) 夏期セミナー (第12回)

夏期セミナーは霊長類研究所が、全国の大学の学部学生、主として3,4回生を対象として開催している自主的セミナーである。研究所が行っている研究やその研究分野を各部門、センター、施設の教官がテキストを用意して紹介した。また将来霊長類の研究を希望する学生との懇談も行った。参加者は60名。

夏期セミナープログラム 2000年7月27日(木)～29日(土)

7月27日(木) <講師/担当者>

10:00～10:10	所長挨拶・ガイダンス	
10:10～11:10	霊長類研究所紹介ビデオ上映	
11:20～12:00	進化系統研究部門	
	集団遺伝分野	川本 芳
13:20～14:00	形態進化分野	片山一道
14:00～14:40	系統発生分野	本郷一美
15:00～15:40	分子生理研究部門	
	器官調節分野	目片文夫・大蔵 聡
15:40～16:20	遺伝子情報分野	平井啓久・浅岡一雄
16:30～18:00	所内見学 (45分×2ヶ所)	
18:30～	懇親会	

7月28日(金)

9:50～10:30	社会生態研究部門	
	生態機構分野	松村秀一
10:30～11:10	社会構造分野	加納隆至
11:20～12:00	ニホンザル野外観察施設	室山泰之
13:00～13:40	人類進化モデル研究センター	後藤俊二
13:40～14:20	行動神経研究部門	
	思考言語分野	友永雅己
14:40～15:20	認知学習分野	小嶋祥三
15:20～16:00	行動発現分野	三上章允
16:10～17:00	質疑応答	講師全員

7月29日(土) 受験予定者のための懇談会

9:45～10:00 生物科学専攻霊長類学系のガイダンス
平井啓久(世話役)

10:00～11:00 各分科教官との懇談会(1)

11:10～12:10 各分科教官との懇談会(2)

なお参加学生には参考図書として下記のをあらかじめ推薦しておいた。
京都大学霊長類研究所編「サル学なんでも小事典」講談社ブルーバックス、800円。
西田利貞・上原重男編「霊長類学を学ぶ人のために」世界思想社、2,400円。
イミダス特別編集「人類の起源」集英社、1,350円。

(2) 公開講座 (第16回)

公開講座は当研究所を中心とした霊長類の研究を広く一般の人々に分かりやすく紹介するためのもので、毎年開催される公的な行事である。幅広い年齢、職業の人々が参加し、2日間にわたって熱心に講義、実習に取り組んだ。参加者75名。

公開講座 「霊長類の進化」

プログラム 2000年12月24日(木)～25日(金)

講義

8月24日(木)

10:00～12:00 「霊長類の進化とDNA」 竹中 修

13:00～15:00 「脳の規則性と無秩序性」 三上章允

8月25日(金)

10:00～12:00 「アラビア半島のマントヒヒ」 庄武孝義

13:00～15:00 「オランウータンの社会構造の研究と保護の現状」 鈴木 晃

実習

8月24日(木)～25日(金) 15:00～17:00

形態・骨学実習 高井正成

心理学実習 友永雅己・田中正之

サルの野外行動観察実習 渡邊邦夫

遺伝学実習 川本 芳

(3) 市民公開

市民公開は研究所周辺の住民に研究所を紹介し、研究所の活動に理解を得るため実施している。研究所周辺を主対象にはしているが、本年度は市内各地、周辺市町村からの募集も行った。参加人員66名。

10月22日(日) 12:50～15:30

13:10～13:15 総合案内。 森 明雄

13:15～13:20 挨拶 所長 小嶋祥三

13:20～14:10 講演 平井啓久

「サルの染色体は何本？—染色体が語るサルとヒトの特性—」

14:20～15:30 所内見学(サル放飼場等)

所内見学では、チンパンジー野外運動場、ニホンザル放飼場、資料室の3ヶ所を巡って、広報委員が説明を行った。

(4) ホームページ

広報委員会と情報システム整備委員会により霊長類研究所のホームページが開設されている。本年度は、年報や自己点検報告書も掲載した。

アドレスは <http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html> である。

(5) 研究所見学者

2000年

- 4月21日(金) 犬山公共職業安定所、約40名。
4月27日(木) 犬山市立城東小学校4年、66名。
5月9日(火) 宮城教育大学附属中学校3年、4名。
「総合学習－犬山市の町づくり」に伴う施設見学
5月11日(木) 犬山市立東部中学校1年、30名。
犬山市にある施設とその役割や内容を知ろうとする郷土学習の一環として、霊長研で行われていることを知り、サルについての理解を深める。
6月5日(月) 犬山市立犬山中学校1年5人。
「犬山郷土学習」の一環として、環境問題と研究所を理解する。
6月26日(月) 犬山市立城東中学校職員、30名。職員の研修の一環として。
8月3日(木)～4日(金) 京都大学農学研究科地域環境科学専攻生物生産工学講座、教官約4名、大学院生12名。施設利用と所内見学。
8月8日(火)～9日(水) 中央大学山口真美先生、学生を連れて研究所の見学、27名。
9月11日(月)～12日(火) 東京大学教養学部長谷川寿一教授、生命・認知科学科実習、23名。
9月28日(木) 名古屋市母子施設連盟、約20人。
11月1日(水) 尾西北地区生物地学研究会、愛知県高校理科教員、約20名。
11月14日(火) 南山中学校2年生、7人。課外学習。
12月22日(金) 椋山女学園大学人間関係学部、教官2名、学生13名。

広報委員会

森 明雄・本郷一美・中村克樹・脇田真清・大蔵 聡(2000年10月転出)・石田茂光(庶務掛長)・鈴木賀寿子(研究支援推進員)

(文責：森 明雄)